



編著者：松本俊次、若槻茂
危機管理研究会

実践 リスク マネジメント

「リスクベースド」とは何か？ その本質と事例

●○ 本書の構成 ●○

本書は、5つの部で構成されています。

第I部「リスクベースド型マネジメントの必要性」では、生産現場に潜在的に存在するリスク領域とリスク要因の特徴およびリスクマネジメントのあり方について概説しました。

第II部「リスクマネジメントプログラムの策定」では、経営トップのポリシーの具体例を紹介し、ポリシーのあり方およびポリシーに基づくマネジメント・プログラムの策定の要点を解説しました。

第III部「リスクマネジメント・マップ」では、リスクマネジメントの世界的動向を概観し、リスクベースド・アプローチ型のモノづくりにへの転換を図るべき時代であることを実感していただいた上で、リスクマネジメントにおけるリスクアセスメントの位置付けを明確にし、代表的なリスクアセスメント手法について詳しく解説しました。

さらに、リスクマネジメントに取り組むときに突き当たる課題と、第III部までに言及されていないリスクマネジメントに関する課題について、**第IV部「合理的な取組みのために—Q&A—」**で解説しました。

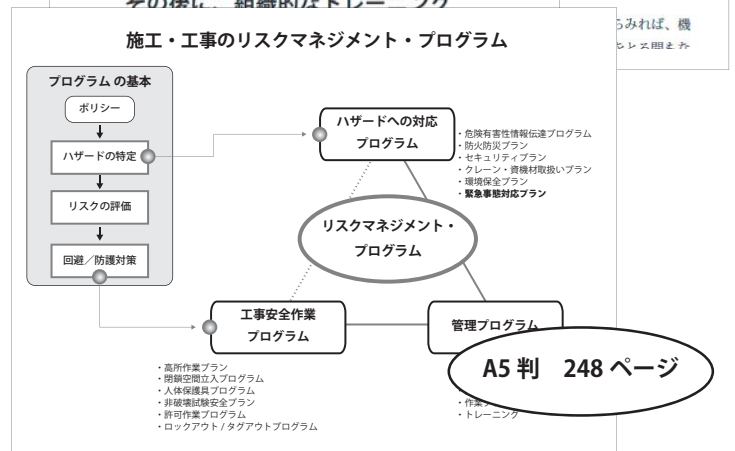
第V部「グローバル生産時代の『リスク・トラブル教訓集』—事例・判例—」は、リスクベースド・アプローチ型のマネジメントの欠如によって、わが国の産業界で発生したリスク事例を通じて、現状のリスクマネジメントの問題点を赤裸々に表しました。

●○ リスク講座受講者の声を反映 ●○

これまで「プラントの危機管理研究会」では、プラントのリスクマネジメントおよび危機管理に関する教育プログラムの開発・実施を中心に活動してきました。本書をまとめるに際して、講座の受講者から得られた質問や要望事項をふんだんに生かしています。

●○ MOSMS との関わり ●○

経営に資する戦略的保全マネジメントシステム (MOSMS) 構築において、とくにマネジメントとは何か、それがリスクベースドであるとはどういうことかを理解し、「保全戦略の策定」およびMOSMS全体の管理サイクルの維持に対して強力に支援できるものです。



本書には、リスクベースド・アプローチ型のマネジメントを、生産現場の多様な業務に活用するための基礎事項つまり“肝”がつまっています。

頒布価格

(注)送料別途

(社) 日本プラントメンテナンス協会 正会員 賛助会員	2,730円/1枚 (税込み) (本体価格2,600円・消費税130円)
上記会員外	3,465円/1枚 (税込み) (本体価格3,300円・消費税165円)

●会員外の方は、この機会にぜひ当会へのご入会をご検討ください

お申込み方法・料金お支払い方法

○下記の申込み書に必要事項をご記入のうえ、ファクシミリにてご送付ください。電話のみでの申込みは受け付けておりません

○資料とともに請求書をお送りいたします。請求書が届き次第、当会指定の銀行口座にお振り込みください。なお、振込み手数料は貴社にてご負担ください。お支払いは、原則として翌月までをお願いします

■ ホームページからの申込みも可能です ■

日本プラントメンテナンス協会のホームページからも申込みができます。

⇒ <http://www.jipm.or.jp/>

●申込み・問合せ先

〒108-0074

東京都港区高輪3-26-33 品川ビル8F

社団法人 日本プラントメンテナンス協会

メンテナンス技術本部

電話 03-6409-2703

FAX 0120-451-467

目次

第Ⅰ部 リスクベースド型マネジメントの必要性

- 第1章 生産現場のリスク
- 第2章 リスクベースド型マネジメント

第Ⅱ部 リスクマネジメントプログラムの策定

- 第3章 業態によるモデルケース
- 第4章 ポリシーによる表明
- 第5章 リスクマネジメント・プログラムの策定

第Ⅲ部 リスクマネジメント・マップ

- 第6章 リスクマネジメントの世界的動向の概要
- 第7章 リスクマネジメントの全体図
- 第8章 リスクアセスメント手法の解説
 - 1. リスクアセスメント作業のステップ
 - 2. 重要なリスクアセスメント手法
 - (1) HAZOP (2) JHA (3) ETBA
 - 3. テーマごとのリスク分析手法
 - (1) コンポーネント (部品) (2) 制御系 (ソフトウェア)
 - (3) 化学物質 (4) 変更リスク (5) クレーム情報・製品リコール
 - (6) スレット (7) 不確定性要因
 - 4. 業務ごとの国際的なスタンダード
 - (1) 開発設計業務 (2) 調達業務 (3) 生産管理業務 (4) 保全業務
 - (5) 工事
 - 5. 広く使える FMECA

第Ⅳ部 合理的な取組みのために-Q&A

- Q1 何から取り組めばよいのか? / Q2 どこまで安全であれば十分か? / Q3 ヒューマンファクターをどうとらえるか? / Q4 プラント (施設) のレイアウトはどうする?

第Ⅴ部 グローバル生産時代の「リスク・トラブル教訓集」
-事例・判例

Case1 ポリシーの存在が問われた事例 / Case2 ポリシー具現化の有無が問われた事例 / Case3 製品 (部品) リスクのマネジメント体制が問われた事例 / Case4 製品の仕様限界に関わるトラブル事例 / Case5 高経年製品事故によるリスク事例 / Case6 海外流出した中古機械によるリスク事例 / Case7 判例にみるリスク低減目 / Case8 事故事例にみるコンポーネントのリスク評価 / Case9 変更リスクマネジメントの不備に起因するリスク事例 / Case10 閉鎖空間内の作業リスク事例 / Case11 判例にみるハザードの予見可能性の事故事例 / Case12 機械安全の基本に関わる事故事例 / Case13 製品リコールの意思決定に関わるトラブル事例

(注)太線の枠内をご記入ください

資料とともに請求書をお送りいたします。



実費頒布申込み書

AQ-2201 メンテ技		経営から生産現場までの 実践 リスクマネジメント		実費頒布申込み			
<input type="checkbox"/> JIPM正会員	所属支部	会員NO.		●正会員 2,730円 × ()部 ●賛助会員	合計		
<input type="checkbox"/> 賛助会員	NO	費用 (税込)					
<input type="checkbox"/> 上記会員以外			●上記会員以外 3,465円 × ()部			円	
ふりがな	会社名	ふりがな	事業場名	備考欄			
所在地	〒	TEL () - FAX () -		(社) 日本プラントメンテナンス協会への連絡・希望事項			
ふりがな	申込者名		所属 役職名				
				受 付	参加登録	請求登録	発 送

■個人情報の取り扱いについて

ここにご記入いただいた個人情報は、当協会保有データとして管理させていただきます。また、後日に当協会および当協会関連法人の商品・サービス・セミナー等のご案内を送付させていただく場合がございます。収集した個人情報は、当社プライバシーポリシーに則った安全対策を施し、適切に管理いたします。なお、ご案内の送付中止、および個人情報の開示・訂正・削除等の詳細につきましては、当協会ホームページをご参照ください。

●個人情報に関するお問い合わせ先：(社)日本プラントメンテナンス協会 <http://www.jipm.or.jp/privacy.html>